

事務事業名 ちくしの文化講座事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：656

施 策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	01090602-03-534
基本事業：	01	ニーズに応じた学習機会の充実	担当部	教育部
基本事業の 成果指標	①生涯学習講座の充足度 ②市公式ホームページ（生涯学習情報ページ）アクセス件数 ③生涯学習情報（市広報紙）利用割合		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習推進・青少年



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成13年度 ～		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市民（小学生以上）			参加者から受講料を徴収し、生涯学習のきっかけづくりとして、カルチャー講座事業を生涯学習センターを中心に開催している。 【1day(1日体験)講座】料理、手芸・工芸、暮らし・実用等 【パソコン・スマホ講座】Word・Excel等の実務講座、スマホ入門講座等 【人材育成講座】日本語教室ボランティア入門講座、傾聴講座等						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市民の学習ニーズに応じた学習の機会が提供され、市民の学習活動、特に、生涯学習のきっかけづくりとして行うこと。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標
受講者数		人	453	218	850	850			1,000
受講者延べ人数		人	478	229	3,000	3,000			3,000
5. コスト									
事業費		計	千円	918	260	1,800	2,099		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	470	179	867	726		
一般		千円	448	81	933	1,373			
正職員人工数		人工	0.2	0.2	0.2				
正職員人件費		千円	1,546	1,563	1,605				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	2,464	1,823	3,405	2,099			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
○あがっている		令和5年度のパソコン・スマホ講座については、別事業の「デジタルリテラシー向上事業」で国の補助を活用して実施したため、ちくしの文化講座事業としての受講者数は減少した。 なお、デジタルリテラシー向上事業では、パソコン・スマホ講座を190回実施し、受講者延べ人数は1,223人であった。							
○どちらかといえばあがっている									
●あがっていない (停滞・低下)									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	あり	生涯学習推進のため、「学びのきっかけ」を多くの市民に提供している。令和3年度より定期講座を、令和4年度より短期講座を閉講したが、自主学習グループに移行することで学びが継続されている。					
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	あり						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	大きい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性		●維持 ○見直し ○廃止 ○事業終了			
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
令和4年度までに短期・定期講座を見直すなど、より参加しやすい講座スタイルを検討、ニーズに合った講座の計画を行っている。 また、パソコン・スマホ講座の数を増やし、市民のデジタルディバイド解消に努める。									
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				■備考・特記事項 or 進行管理欄					
生涯学習センター開館にあわせ、高度化・多様化する市民の学習ニーズに応じた学習機会を提供している。									